

【教材】

ブランディングを知らない男は 一生モテないからマジでやばいよ。

こんにちは、リュートです。

いきなりタイトルで刺激的であることは否定しない。
非常に読みやすいレポートとして作れたと自負しているので、
かなりスラスラ読めると思う。

100人以上読んでもらったけど、
かなりの評価をいただいたので、
非モテ男性はまずこれを読んでもらいたいと思う。

では話していきたいと思う

さっそくだが、
ブランディングには、

- ① 実体以上にイメージがよくなり、
- ② 印象に残りやすくなり、
- ③ 信頼感が生まれて、
- ④ 差別化ができる

という特徴がある。

上記の特徴をそれぞれ深掘りしてみる。

まず

①実体以上にイメージがよくなる

を解説していこう。

アプリで人気会員の人なら
死ぬほどわかると思うけれど、
これは超メリット。

まず、人の印象というのは
「イメージ」で決まる。

人というのは無意識に「この人はこういう人」と
イメージで決めつけ、記憶するという
脳みその仕組みになっている。

イヤミなことばかり言う人は
「イヤな人」というイメージになるし

ポジティブでいつも笑顔な人は
「いい人」というイメージになるだろう。

この「イメージで決めつける」という
人間の脳みその仕組みを利用して
いい男のイメージを作り上げることが
ブランディングの基礎となるのだ。

だから普段の発言、行動が
死ぬほど重要になる。

もしあなたがデート中にレストランで
店員さんがワインをこぼして
自分のお気に入りの服が台無しになったら
店員さんになんというだろう？

「これお気に入りの服なんですよ！
ワインのシミは落ちないから
弁償してもらえますか！？」

なんていいたい気持ちになるかもしれない。
というか、それはまあ普通の反応だと思う。

しかしセルフブランディングの観点でいくと
それは最悪の対応なのである。

キムタクはモテる男の代表格だろうから、

「キムタクならどうするか？」
と考えるとわかりやすい。

デート中にレストランで
店員さんがワインをこぼして
自分のお気に入りの服にかかったとして

「ああ、全然大丈夫ッスよ。
服くらいまた買えばいいんだし。
それより落ち込まないでね。
気にしない、気にしない！！」

そんなことをサラッと行って、
店員さんもデート中の女性の好感度を
ぶち上げるだろう。

そうして事あるごとに
自分のブランド価値を高めていく。

セルフブランディングの意識のある男は
常に人からどう見られているかを意識し、
その場その場で最適な言動で評価を高める。

しかしそういった意識がないと、
自分が損しないように自己保身の言動を取ってしまい、
周りからドン引きされて評価を落としてしまう。

評価が落ちてしまうと
信頼がなくなり、
信頼がなくなると
周りから人が離れてしまい、
信頼できる友だちや仲間がいらないから
どんどん心の余裕がなくなってしまう。

ルックスがいくらよくても、
心の余裕がないとダメだし、
稼ぎがいくらあっても、
評価が低いとダメ。

自分の評価を気にしようぜ。
という話。

なので、セルフブランディングを
自分の評価を高める概念として取り入れ、
女性の好感度を上げてまず成功体験を作るのが
最もカンタンに非モテがモテる男になる方法であると
僕は思っている。

おとっと話を戻そう。

マッチングアプリにおいては初心者にとって
知識がないとリスクがある。

金銭的リスク、騙されるリスク、
失敗するリスク(これは実際はリスクではないんだが)。

そのリスクがあることによって
行動できないことが問題なのだ。

それが結果的に最大のリスクになる。

結局やらなければ、
経験にも120%ならないし、
どれだけ考えていても行動に移さなければ意味がない。

そういった意味で、
知識がないってのがネックになっていて、
行動しないってのはかなり損する。

だからこそ僕は、
とにかくすぐ行動することを推奨していて、
今すぐマッチングアプリに登録すれば
すぐに恋活を始めることができる。

これは実際かなり大きな一歩となる。

Pairsももうやったかな？

あれは初心者が最も出会いやすいサービスだ。

下記から登録できるので、
即やることを勧める。

<https://px.a8.net/svt/ejp?a8mat=3HMLQG+1OQ8HE+2PSU+61JSH>

この登録作業から
セルフブランディングの第一歩が始まる。

Pairsを使えば、
普段とは接しれないような
女性と出会えることができるので
まだやっていない方は今すぐやるべきだ。

僕も最初は半信半疑だったけど、
実際に出会えたらもう疑いようがない。

信じるしかないわけだ。
経験もコミュカも何もない人間が
スマホ1つで見知らぬ女性と出会えちゃうんだから。

本当にこれだけでも人生変わる人は超いると思う。

というかこれができないのであれば、
恋愛は諦めたほうがいい。

チャンスがあって、
知識を学べばノーリスクなので、
あれば積極的にやっていくスタンスをとっていかなければ未来はない。

まずPairsに登録するだけだ。

<https://px.a8.net/svt/ejp?a8mat=3HMLQG+1OQ8HE+2PSU+61JSH>

それができないなら、
正直一生一人でシコリ続けたほうがいいので、
あえてここでは厳しく言うておく。

当然マッチングアプリ自体もリスクはない。
知識がないことは本当に初心者時代はよくない。

僕は数々の女性と出会い、
失敗しまくってきたからこそ
失敗を回避して成功する方法を知っている。

だからこそいうが、
非モテは知識がないとうまくいかない。

確実に女の子に気に入られるくらいの
経験があるのならいいけど、
非モテに限った話をすれば、
まずは知識をつけながら
マッチングアプリで経験を積むべきだ。

恋愛コンサルでは、
会社の役員をしている男性にコンサルしているのだが、
僕のコンサルを受ける前は、

結婚相談所に1年以上在籍してるにもかかわらず、
お見合いが1回もうまくいっていなかった。
収穫がないまま100万円以上溶かしていた。
知識がなかったのだ。

せっかく高収入で次期社長なのに、
うまくアピールできてなかったのだ。

僕はマッチングアプリで培った
セルフブランディングの能力を活かして、
その男性をコンサルした。

アホみたいにモテるようになった。

会社で役員をしてるその男性は、
ブランディングの知識がないのに
いきなり結婚相談所に入ってしまったために
成果が出ずお金を溶かしまくっていたのだ。

マッチングアプリはセルフブランディング力を
鍛えることができるツールでもある。

実体以上にイメージがよくなり、
普通だったら出会えないレベルの女性と
デートに行くことができる。

こんなに便利なものはない。

次は②の印象に残りやすくなることを解説していこうと思う。

印象に残るって、
正直人生イージーモードになるほどのメリットで、
これはメチャクチャモテる上で有利に働く。

ブランディングの何がいいかって、
印象に残るから、
連絡を返してもらいやすくなるってこと。

たくさん連絡ができる過程で、
どんどんコミュカもついてくるし、
おまけにセックスできたりする。
こんなにいい話はない。

モテるってのは、
階段を1つずつ乗り越えていくようなもので、
印象に残らないと、
それだけで非モテにはハードルが高い。

ハードルは超えていくためにあるのであって、
高くそびえ立つハードルを見ている意味はない。

ちょっと頑張ったら越えられるハードルくらいを設定するのがちょうどいいのだ。

なぜかたまに、
超ハードルの高い女性にアプローチしようとする人がいるが、
僕は断固反対の立場をとる。

何度でもいうが、

結局1つずつこなしていただけなんだ。

いきなり富士山のとっぺんにワープしようと思っても、
それは厳しいんだ。

できないことの青写真を眺めているのではなくて、
ちょっと頑張ればできることを1つずつ潰していこう。

そうしたらいつの間にか、
富士山の山頂に到達していることもある。

最初は、はっきり言って何もわからない。
まずはプロフィールの作り方がわからない。

重要なのは、
マッチングアプリに登録したら
女性がどんな男を求めているかから逆算して、
自分をどう見えているかを意識して
プロフィールを作り込むこと。

まずはそれだけでいい。

それ自体も、
百聞は一見にしかずで、
やる前と、やった後では全然イメージが変わってくる。

イメージできないなら、
まずは、人気会員の男のプロフィールを覗いてみるべきだ。

それができるアプリもあるし、
なければ探してみよう。

世の中には、
実際にモテている男がいることを実感するだろう。

それも印象に残すために
ブランディングしている意図や狙いを理解することができる。

狙いを盗めば役立つがゆえに余裕を持ってモテる人を研究することができる。

まずはハードルを下げて、
どんなブランディングができるか眺めてみよう。

どれだけやっても、
失敗はしない。
リスクは全くない。

次は、
③の信頼感が生まれる。

これも超メリットだ。

マッチングアプリだと、
誰でも登録できてしまうので
ヤリモク男や詐欺師など警戒する女性は多い。

この警戒心というのは厄介だ。
「コイツヤバそうかも？」って思われた瞬間にメッセージが帰ってこなくなる。

女性は常にそういったリスクを気にしている。

ちなみに実はリスクってのは金融用語で、
日本語に訳すと、
正しくは、「リスク=不確実性」である。

不確実なこと=リスク高い
ということだ。

リスク=危険性
この訳し方は実は意識だ。

不確実である→成功するか不明→危険である
この流れで訳されたものと思われる。

しかし多くの男は女性が警戒していることを知らず
なんとなく思うがままにメッセージを送り

「コイツヤバいな」と判断されて
彼氏候補から外れていく。

全くありがたい話である。
それだけマッチングアプリをなめている人が多いのだから。

信頼感が生まれるというと、
信頼があるだけで
ココロもカラダも許してくれることに繋がるのだ。

僕は信頼一つで友人から250万円もの大金を
一言お願いしただけで貸してくれたりする。

250万円というと、
小さな飲食店やマッサージ店などを
開業できてしまうほどの金額だ。

信頼を作れるということは
それほど大きい。

よく来るコメントで、
「マッチングアプリをやる前に色々と準備をしたいです」
といった内容のものがくることがある。

確かに準備は大切だ。
しかし、人生は有限だ。

今絶対にやらなくてもいいレベルのことに時間を割いてる暇はない。
マッチングアプリで出会いたいなら、
やるべきことは準備ではなくて、
マッチングアプリのスキルを磨くことが最も必要だ。

モテたいなら、
モテてる人から習って、
習った通りをやるべきだ。

守破離である。
自分は気づいてないかもしれないが、
破や離にフォーカスしている可能性がある。

断言するが、
守だけで、モテにはつながる。

そして、準備のコメントと同様に、
「モテる鉄板トークってありますか？」
という質問がある。

「これを言えばモテる」なんてものはない。

それって枝葉の部分なんですよ。

モテたいモテたい言ってる人でも、
なぜかモテに関係が深い部分ではなくて、
枝ばかり生やしている人が多いように思える。

モテたいから、
脱毛をすとかね。

はっきりいって、
以上に滑稽な様であるようにしか僕の目には映ってないし、
僕の友人のモテ男も同じことを言っている。

モテたいなら、
自分の魅力を磨くべきなんだよ。
最もシンプルだ。

そして、
マッチングアプリは様々な女性と出会えるということもあり、
魅力をどんどん磨いていける。

好きな女の子を他の男に取られたことがある人は
わかるだろう。

モテる男は、
魅力があるから女は惚れる。

いくら綺麗事並べても、
モテるやつが魅力では勝っているという現状がある。

それが幹の部分である。
枝ではダメなんだ。幹を太くしていこう。

④は差別化ができるということ。

差別化の最大のメリットは、
選ばれる必然性ができることだ。

差別化のいい例として、iPhoneがある。

かつてガラケーの性能を少しでも上げられるように
日本の大企業たちが必死に競い合っていたときに
iPhoneが登場し、ガラケーの時代が終わり、
世界中がiPhoneを選んだ。

これはタッチガラスで感覚的に操作できて
アプリケーションをどんどん追加できる
という差別化がうまくハマったからだ。

これを恋愛に置き換えると、
顔のカッコよさやオシャレさという
性能で競ってたところで

他の部分で差別化できたら
イケメンよりも選ばれることだって
全然あるのだ。

差別化ができるとライバルと争う必要がなくなるので強い。

はっきりいって、
差別化ができていなかったら、
僕のような顔も平凡で身長も低い男が
モテるなんてほぼ不可能だ。

僕は寝ていても、
自動的に女性から選ばれているのだ。

逆にいくら努力をしようが、
差別化ができていない場合は、
強力なライバルとの争いに巻き込まれて
残念ながら勝ち目はない。

僕は女性と話せば話すほど、
それがちゃんと結果に反映される
思考法をマッチングアプリをベースにして、
習得することができたのだ。

それがどんどん雪だるま式に重なり、
モチにつながっていく。

それが僕が指先一つで
マッチングアプリだけで100人以上の女性と
出会えたわけです。

マッチングアプリってのは言ってしまうと、
出会いのハードルを下げまくってくれてるわけだ。

話をまとめに入ろうと思う。

今回の教材では、
セルフブランディングのことを中心に書いていき、
セルフブランディングの【視点】で、
マッチングアプリの成功法則を書いていた教材になっていたと思う。

セルフブランディングがどうして、
メリットだらけなのかも分かったと思う。

デメリットを1つあげるとするのなら、
日本人がみんなセルフブランディング学んでしまって、
魅力を高めることになったら、
出会いの場を新たに探す必要が出てくるってことかな。

魅力的な人が増えてしまったら、
今セルフブランディングで味を占めている人たちは大変な思いをするんだよね。

ま、そんなことは、今の日本人を見ている限りありえないんだけどね。

最後に大事なことを言うと、
千里の道も一歩から。

まずは小さくていい。本当に小さくていいから。
偉大なる第一歩を踏み出そう。

脱完璧主義と脱クソプライド。

ここで筆を止めたいと思う。

リ्यूト